

<p>【教材・教具名】 時間がたつと（何分間）</p>	<p>【教科・領域】 算数・数学</p>
	<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セロファン（各色）</li> <li>・ラミネートフィルム</li> <li>・マジックテープ</li> <li>・教示用時計</li> <li>・はとめ</li> </ul>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻が読める生徒が、「何分たつと〇時〇分になる」ことが視覚的にわかるようにする。</li> <li>・「10時から10時10分まで〇分間」が理解できるようにする。</li> </ul>	
<p>○使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教示用時計の長針、短針を操作して現在の時刻を表す。（例）「10時」</li> <li>②「10時からマラソンを始めました。10分たつと何時何分になるでしょう。」の問いに、10分間を表す「青セロファン」（ラミネートされたもの）を長針に合わせて貼る。</li> <li>③「10時10分」と答える。</li> </ol> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あとどれだけという」時間によって、セロファンの色を変えた。 「5分間」→緑、「10分間」→青 「15分間」→赤 「20分間」→黄 「25分間」→黄+緑、「30分間」→透明、「40分間」→白</li> <li>・何分間後の長針がわかるようにセロファンの端に長針を付けた。</li> </ul>	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今1時50分。2時まであと10分」などということが、視覚的に分かりやすくなり、時間への理解が深まった。</li> </ul>	
<p>○参考文献</p> <p>『長所活用型指導で子どもが変わる』藤田和弘・青山真二・熊谷恵子編著 図書文化</p>	